S-PULSE DREAM RACING
www.s-drt.com

レース参戦報告
RACE REPORT

2021 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ
JSB1000クラス第2戦　レース報告書

クラス JSB1000
ライダー #20 生形秀之

MFJ SUPERBIKE All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP 2021

R2 鈴鹿サーキット（三重県）

エントリー台数　64台
観客動員数（土・日合計）16,500人

4/24(土) 晴れ　公式予選　レース1　14位（タイム:2'08"312）　レース2　14位（タイム:2'08"516）

4/24(土) 晴れ　決勝レース　レース1（14周）　7位
4/25(日) 晴れ　決勝レース　レース2（16周）　10位

合計獲得ポイント　9P
ポイントランキング　14位

■ レース1を7位でゴールし鈴鹿8耐トライアウトを突破！

三重県・鈴鹿サーキットで開催された「全日本ロードレース選手権第2戦鈴鹿2&4」に、生形秀之はエスパルスドリームレーシング・ITECとしてスポット参戦した。昨年12月にはJSB1000に上がってから悩まされてきた腕上がりの症状を抑える手術を行い、様々なトレーニングも行って、新たなシーズンに備えていた。名前こそ変わっていないが体制を一新したチームで最大限のパフォーマンスを発揮すべく、3月末のツインリンクもてぎテストで初走行し、その後もトレーニング用のマシンで鈴鹿、富士を走り、感覚を磨いた。

今回のレース1は鈴鹿8耐に向けたトライアウトを兼ねており、まずは参戦権を取得することが一つの目的。木曜日に始まったレースウィーク、走り出しは思いのほか順調だった。初日は昨年使用のマシンと今年新たに組んだマシンの比較を行い、フィーリングのよかった新しい方でマシンセットを進めることを決めた。4輪のスーパーフォーミュラなどが併催のため、タイヤラバーの影響を受け路面コンディションが変わる中、セットアップを進めていった。

土曜日の公式予選ではマシンセットが進み、いい手応えを感じていた。そしてセッション終盤にニュータイヤを履きタイムアタックに入る。細かいミスはあったが2分08秒台前半に入れ、両レースとも14番手グリッドを確保した。

＜決勝レース1＞14周で争われたレース1。スタートを決め、オープニングラップを9番手で戻って来る。3周目、後方で発生した多重クラッシュのため、セーフティーカーが5周も入ることとなる。そして、ようやくリスタート。すぐに前の1台がマシントラブルでピットイン。最終コーナーでは生形の目の前を走るライダーが転倒し、あわやという場面もあった。しかしこれで8番手に浮上。難しいコンディションと荒れる展開の中、冷静にゴールを目指す。最終ラップにポジションをひとつ上げ、7位でゴール。同時に鈴鹿8耐参戦権を得た。

＜決勝レース2＞レース2はうまくスタートを決められず、1コーナーでのまれてしまい15番手で2周目に入っていく。しかしそこから1台ずつかわして行き、8周目には11番手に浮上、レース終盤は三つ巴の10位争いに。生形は冷静に相手を分析し、ラストラップ。ここ最近の取り組みが実を結び、熾烈な10位争いを制することができたのだった。

<生形秀之コメント>

「今回はチームスタッフも変わり、新しいスタートとなるレースでしたが、みんな頑張ってくれました。とても乗りやすいマシンに仕上げてくれましたし、安心して走る事が出来ました。

長年課題だった腕上がりの症状も改善し、レース終盤にペースを上げることができたのは、個人的にとても大きな出来事で自信になりました。
これも応援くださる皆さんのおかげです。

そして、今回の参戦に関してブリヂストンさんには非常に助けて頂きました。感謝申し上げます。

引き続きチームとして、ライダーとして前進をしていきますので皆様、応援よろしくお願いします」



PARTNERS

ITEC Taica FUJI BUSSAN Kobayashi sanmei MFD S-TRUST IMPRESSION MJ PLOT 静岡総合警備保障
Assis live 静岡メンテ株式会社 Amtracks TAKEDAKENSO 双和工業 高留ビル 瞬読 静岡マテリアル Garage Moto tech DULTON
SUZUKI Auto Rimessa BRIDGESTONE MOTUL MAVERICK RK NGK SUNSTAR m-tech Etching Factory (株)茗荷シート
韮山石材(株)　(株)シトミテック　(株)スペース空調　ENDO　FUKUDA　(株)桧家住宅名古屋　天翔整体
SHOEI HYOD alpinestars P3